



11月の園だより

令和5年11月1日
目黒区立田道保育園
園長 藤木 章王

春先に園庭で田植えをした稲が実をつけ稲穂となり、先日5歳児クラスの子ども達と稲刈りをしました。稲穂が垂れているのを見て、「お米がたくさんできたね」と友達同士、互いに声を掛け合っています。束になった稲を切るのには力がいらいます。「なかなか切れない」と言いながらも指先に力を入れてハサミで切っています。その様子を2歳児クラスの子どもたちがじーっと見ていました。それに気づいた5歳児クラスの子が「一緒にやってみる」と声をかけると頷いています。ハサミを一緒に持ち、2歳児クラスの友達が切れるぐらいの束を持って切りました。切れると「わあー」と声を上げ稲の束を持って、担任の下に駆け寄って「見て、お米」と嬉しそうに伝えていました。担任も「よかったね」と笑顔で声をかけていました。保育園での異年齢交流はこうした身近なところに沢山あります。子ども一人ひとりの思いや行為に寄り添い、大切にしていきたいです。廊下に稲を干しました。2歳児クラスの友達はお迎え時に「今日ね。お姉さんと一緒に稲とったの」と稲を見ながら、お母さんに伝えていました。とってもほほえましかったです。

今月の予定

焼き芋会
交通安全指導（5歳児クラス）
身体計測 避難訓練

お知らせ

来月、にこにこ子ども会を行います



『掘ってきたよ!』 芋ほり遠足 (4・5歳児クラス)

今年も4・5歳児クラスで埼玉にある荒幡農園に芋ほり遠足に行ってきました。

バスを降りるとすぐに「お弁当はどこで食べるの?」「なんだかお腹がすいてきちゃった」などの声が聞こえ、芋ほりと同じくらいにお弁当を楽しみにしている姿がうかがえました。

畝に着くとすぐに掘っていきます。土から少し出た弦を思いきり引っ張ってみたり、土の山をひたすら崩したり、早く掘り起こしたくて少しだけ頭の出た芋を引っ張り折れてしまったり、それを見ていた子は折れないように慎重に掘り進めたりと掘り方も様々です。熱心に掘っていくうちに幼虫が出てきました。園庭や散歩先で見つけた時には一斉にみんな集まり幼虫の観察をしています、「先生、虫がいたよー!」と報告の一言でまた黙々と芋ほりを始め、今日のメインは“芋を掘ること”と自覚しているようでした。

「あーここにある」「大物ゲット!」とあちこちで歓声が上がりと「なんか甘いにおいがする」「お芋って冷たいんだね」と芋に触れながら感じた事を色々と話してくれる子もいます。芋を掘りながら様々な五感を使って楽しんでいることが伝わってきました。また、掘った芋がいっぱいに入った袋を持ち上げ「ぼくもうこんなにいっぱいだよ」と見せてくれる子は「もう疲れちゃった」と友達が言っていることに気付くと「手伝ってあげる」とすぐに駆け寄り友達同士で協力し合う姿も見られとても微笑ましかったです。

みんなでたくさん掘った芋は、給食のメニューや焼き芋会の芋として保育園のみんなでおいしく頂きます。また、乳児クラスも園庭の砂場でお芋掘りごっこを楽しんだり、4・5歳児クラスが掘ってきた芋は大活躍です。八百屋さんの芋とはまた一味違ったおいしさがあること間違いなしです。





外で遊ぶのって楽しいね！

散歩先で遊ぶ3歳、4歳、5歳児クラスの子どもの様子をご紹介します。

『バーベキュー』

3歳児クラス（ぺんぎん組）

クリーン公園に散歩に行くと、とんぼやちょうを捕まえようと走ったり、友達と追いかけて走って楽しんでます。先日は、木の枝を集めてくる子がいて保育士も一緒に集めながら「肉を焼こうか？」「魚にする？」と会話をし、積んでいくと石で囲いを作り砂をかけて立派な焚火のようなものが出来上がりました。それを見ていた子どもも枝や石を足してくれたり、木の枝をこすって火を起こす真似をしたり、他の子は枝に葉やセミの抜け殻を刺して「魚だよ」「マシュマロです」と持ってきてくれていました。最初に作っていた子の中にお土産を持ってきてくれた友達が次々と集まり、みんなで焚火を囲んでバーベキューごっこが盛り上がりました。これからも、子ども達の発想や発見と一緒に楽しんだり、秋の自然物を様々な物に見立てて友達と一緒に楽しんでいきたいです。



『公園で元気いっぱい、楽しい！』

4歳児クラス（いるか組）

暑い夏が終わり、とても気持ちの良い季節になりました。「明日は〇〇公園に行こうと思います」と話をすると「やったー！」と毎回のよう歓声が上がりとても楽しんでます。

公園に着くとすぐに「氷鬼やる人は集まって！」と声が聞こえてきます。それを聞いた友達も「やるやる！」「私も鬼やりたい」と次々に集まってきて「じゃあ、鬼やりたい人」と子どもたち同士で鬼の人数や誰が逃げるかの話し合いが始まります。時には「僕も鬼をやりたいかった」と意見が食い違ってしまったり、鬼と逃げる人がなかなか決まらないこともあります。「じゃ、順番にするのはどう？」「〇〇くんはどうしたい？」など保育士も一緒に考え、みんなで楽しめるようにルールや順番などを決めて遊んでいます。ルールが決まるとすぐに全力で走り始め、タッチをしたり、逃げたりして楽しんでます。そのうちに「私もいれて」「僕もやりたい」とどんどん輪が広がり、今ではクラスみんなが大好きな遊びの1つになりました。

身体を動かして遊ぶことが大好きなので、これからもたくさん散歩に出かけ、広い場所で思い切り走ったり、秋の自然に触れ楽しんでいきたいと思います。

『秋の自然に囲まれて』

5歳児クラス（くじら組）

秋になり久しぶりに中目黒公園に出かけていくと、短い草や長い草、細い草や大きな草が生い茂る場所がバッタやトンボ、ちょうちょうが飛び回る“虫たちのおうち”になっていました。大喜びで草むらに入っていた子ども達が「先生、バッタ見つけたよ」と出てきた姿を見てびっくり。全身にひつつき虫（ヌスビトハギ）がついていたのです。虫探しに夢中で気付いていなかった子ども達も自分のズボンや袖口、友達の姿を見てびっくり！大笑いしていました。草むらはかくれんぼにも最適で、草をかき分けて小さくなって上手に隠れます。じっとしていると、どんぐりを発見。「あ、どんぐり！」と、

一瞬声を上げましたが、かくれんぼ中だったことを思い出し、鬼に見つからないようにどんぐり拾いもししていました。でもクルクルの髪の毛みたいなどんぐりの帽子を見つけて笑っていると鬼に見つかってしまいました。

草が覆い茂った草むらの中は、姿が見え隠れする、虫たちの声と子ども達の笑い

